

SEEDS OF IDEAS

アイデアのたまご

Finger on the pulse! Cutting-edge art

だれよりも早く知りたい! アート最前線

トップレベルのアーティストたちが才能を競い合う
ニューヨークのアートシーンを紹介。

Text & Photo: Yuki Shingai

複雑に構成された

色彩とレイヤーのマジック

ディーター・バルザー / GEOPOP展

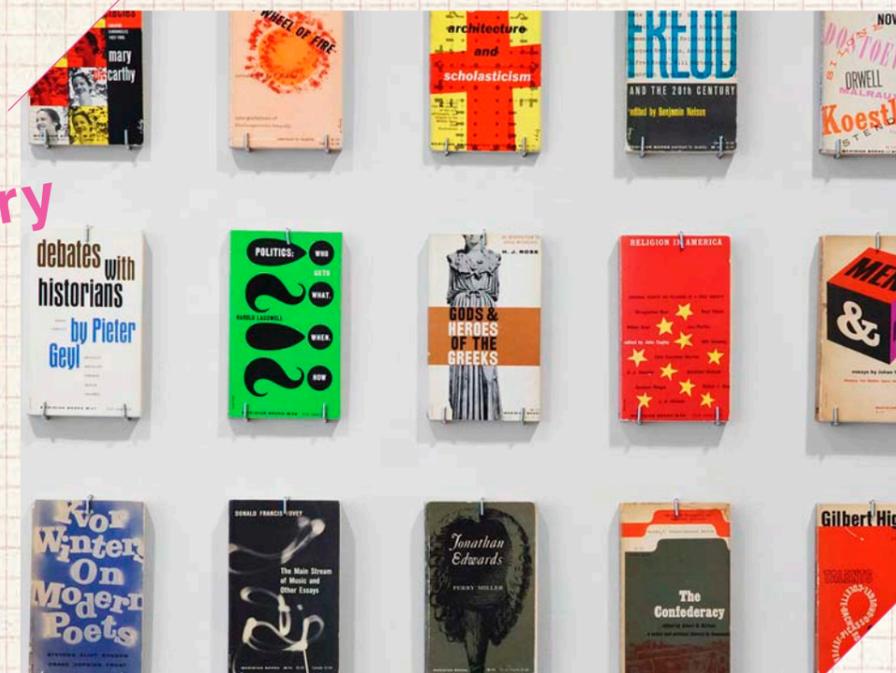
明るく鮮やかなカラーパレットが印象的な3次元ポップアートを制作するディーター・バルザーは、ドイツ生まれのアーティスト。自らを「ミニマリズムの構造主義者」と称する彼の代表的作品は、中密度繊維板に金属箔を貼りつけたもので、そこにグリッドのようなライン、何度もくり返されるモチーフ、目に飛び込んでくる軽やかな色彩、そして絶妙なネガティブスペースが配置されている。それぞれの作品を正面だけでなくあらゆる角度から鑑賞することで、形の上に形を重ねながら複雑に構築されたレイヤーを楽しむことができる。デバック・ギャラリーにて。

De Buck Gallery
511 West 25th Street, Suite 502, New York, NY 10001
www.debuckgallery.com



Dieter Balzer:
Geopop

The Lustigs: A Cover Story



モダンアートとカバーデザインの集大成

ザ・ラストィグズ / A Cover Story

アルヴィン・ラストィグとエレイン・ラストィグ・コーエン。ともにグラフィックデザイナーであるラストィグ夫妻が共同制作した500点にも及ぶカバーデザインを見渡すことのできる展覧会。1933～1961年の本、雑誌、カタログなどの表紙が中心となっており、現代アメリカのカバーデザインのルーツを夫妻の作品群に見ることができる。重度の糖尿病のため、1950年代半ばにはほとんど視力を失っていたラストィグ氏だが、妻のエレインやアシスタントに精細かつ入念な指示を与えることによって、自身ではもう見ることのできなくなった作品を完成させたと言われている。AIGA ナショナル・デザイン・センター・ギャラリーにて。

AIGA National Design Center Gallery
164 Fifth Avenue, New York, NY 10010
www.aiga.org

Diana Cooper: My Eye Travels*



都市のランドスケープを

巧みに織り込んだコラージュ

ダイアナ・クーバー / My Eye Travels*

ニューヨークを拠点に活動するダイアナ・クーバーは、現代都市から切り取った景観をフォトコラージュやインスタレーションに落とし込み、人間が作り出したシステムと自然界の相互関係をテーマに作品制作を行っているアーティスト。一見したところ、どの作品もカラフルで強烈なパターンが目を引きコラージュだが、それを構成する要素をひとつずつ観察すると、競技場の観客席、プラスチックの配管、工事現場、人工芝などが姿を現す。日常的な都市のランドスケープがまったく異なる文脈において再構築されたカオスの世界を、謎解きのように探索できる。ポストマスターズ・ギャラリーにて。

Postmasters Gallery
459 West 19th Street, New York, NY 10011
www.postmastersart.com

Aakash Nihalani: Portal



蛍光色と図形が生み出す

イリュージョン

アカーシュ・ニハラニ / Portal

彫刻、インスタレーション、写真、そしてインタラクティブビデオまで、多様なジャンルにおいて制作に取り組んでいるブルックリン在住の若手アーティスト、アカーシュ・ニハラニ。シンプルな図形にコントラストの強いモノトーンや蛍光色を使い、数学や物理の図解を思わせる彼の作品は、目の錯覚を引き起こす奇妙な仕組みが特徴。壁やアスファルトにテープを貼りつけて図形を描くことで3次元のイリュージョンを作り出し、平凡な都市の風景にだまし絵のような空間を出現させるストリートアートも有名。彼の巧みなユーモアのセンスも見どころのひとつ。ジョナサン・レヴァイン・ギャラリーにて。

Jonathan LeVine Gallery
529 West 20th Street, 9th Floor, New York, NY 10011
jonathanlevinegallery.com